

平成27年度資産運用状況について

清酒製造業退職金共済事業等勘定 給付経理

資産運用に当たっては、中小企業退職金共済法及び関係省令・告示並びに[運用の基本方針](#)に則り実施いたしました。清退共制度の安定的な運営及び健全性の向上に必要な運用収益を確保するため、最適な資産の組み合わせである[基本ポートフォリオ](#)に沿った資産配分を行い運用を実施いたしました。

平成27年度の資産運用は、自家運用では安定した収益を確保したものの、中国市場の混乱や原油価格の下落を契機に、世界経済の先行き不透明感が台頭し、国内株式市場が下落したため、委託運用では国内株式の収益が大幅なマイナスとなりましたが、全体では収益を確保しました。

平成27年度末の運用資産残高は43億69百万円となり、当期の運用収益は30百万円（運用収入が32百万円、運用費用が3百万円、運用費用のうち金銭信託評価損は3百万円）、決算運用利回りは0.67%となりました。

なお、前年度に対して金銭信託の収益が1億6百万円減少したこと等により、当期総損失は62百万円を計上し、利益剰余金は24億46百万円となりました。

資産運用の内訳としては、[自家運用](#)は期末運用資産残高35億50百万円、運用収益32百万円、決算運用利回りは0.90%となりました。

[委託運用](#)は期末運用資産残高8億19百万円、運用収益△3百万円（費用控除後）、決算運用利回りは△0.31%となりました。

委託運用のうち金銭信託に係るパフォーマンスは、資産別では国内債券・国内株式とも[ベンチマーク](#)を上回り、全体でもベンチマークに対する超過収益率が0.78%となりました。

資産運用状況

➤平成27年度の資産運用状況は、下表のとおりです。

(単位:百万円)

運用の方法等		資産額	構成比	運用収入 ①	運用費用 ②	運用収益 ①-②	決算運用 利回り	
自 家 運 用	有 価 証 券	国債	1,630	37.31%	29	-	29	1.07%
		政府保証債	499	11.43%	2	-	2	0.74%
		金融債	400	9.15%	1	-	1	0.30%
		計	2,530	57.89%	32	-	32	0.95%
	預 金	短期運用	-	-	0	-	0	0.03%
		普通預金	1,021	23.36%	-	-	-	-
		計	1,021	23.36%	0	-	0	0.00%
計		3,550 <3,622>	81.26%	32	-	32	0.90%	
委 託 運 用	金銭信託	819	18.74%	-	3	△3	△0.31%	
	計	819 <821>	18.74%	-	3	△3	△0.31%	
合 計		4,369 <4,444>	100.00%	32	3	30	0.67%	

- (注) 1. 資産額の<>内の金額は、平均残高である。
 2. 決算運用利回りは、運用収益を平均残高で除した数値である。
 3. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

運用収益及び決算運用利回りの推移

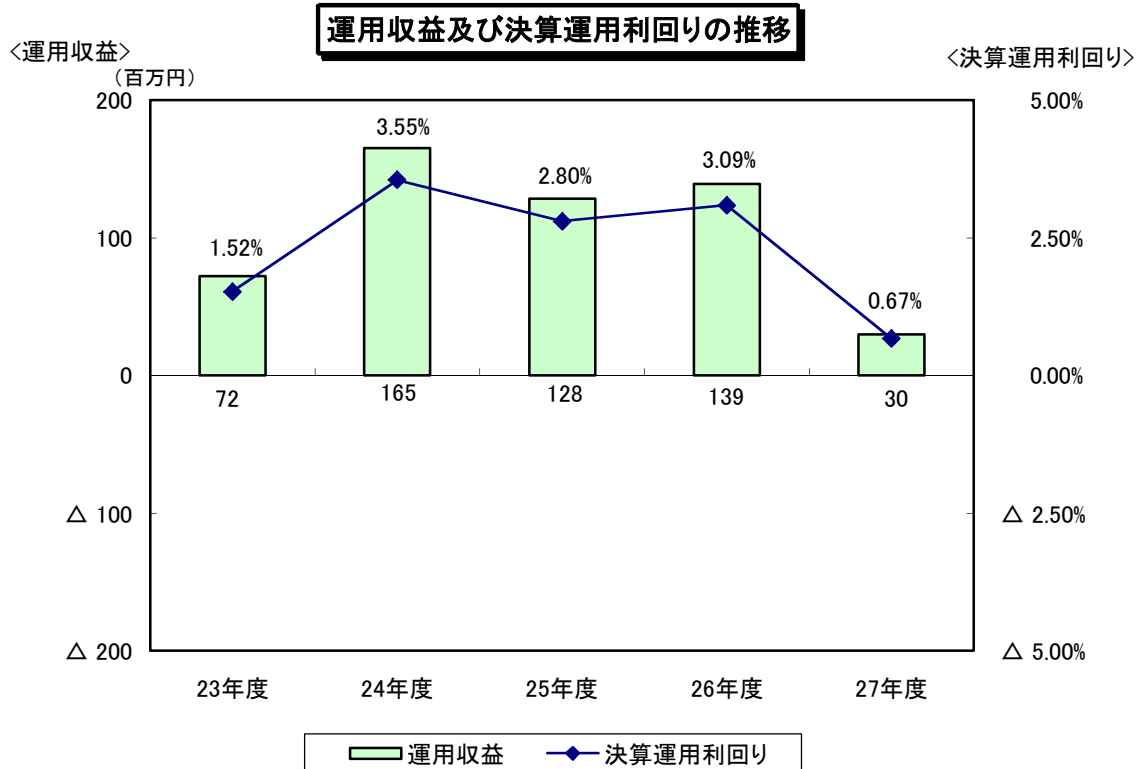
➤過去5年間の運用収益及び決算運用利回りの推移は下表のとおりです。

(単位:百万円)

運用の方法等		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
自家運用	有価証券	38	36	35	36	32
	預金	0	0	0	0	0
	計	38	36	35	36	32
委託運用	金銭信託	32	128	93	103	△ 3
	生命保険資産	1	1	-	-	-
	計	34	129	93	103	△ 3
運用収益の合計		72	165	128	139	30

決算運用利回り	1.52%	3.55%	2.80%	3.09%	0.67%
---------	-------	-------	-------	-------	-------

- (注) 1. 運用収益は費用控除後の額である。
 2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。



自家運用資産の構成状況

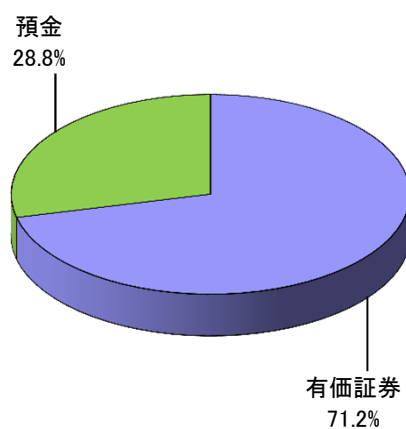
➤ **自家運用**は、元本の償還や利払いが確実な国債を中心に運用し、平成27年度末の資産額は35億50百万円で、国債の割合は45.9%となっています。

(単位:百万円)

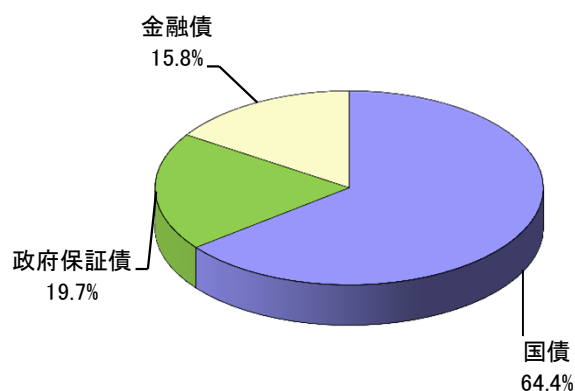
運用の方法等		資産額	構成比	
				有価証券構成比
自家運用 有価証券	国債	1,630	45.9%	64.4%
	政府保証債	499	14.1%	19.7%
	金融債	400	11.3%	15.8%
	計	2,530	71.2%	100.0%
自家運用 預金	短期運用	-	-	
	普通預金	1,021	28.8%	
	計	1,021	28.8%	
合計		3,550	100.0%	

(注) 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

自家運用構成比



有価証券構成比



委託運用資産の構成状況

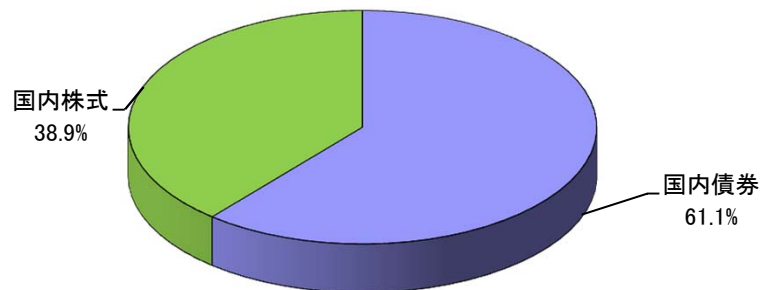
➤平成27年度末の委託運用のうち、金銭信託は、銀行(1社)に運用を委託し、資産額は8億19百万円となっています。

(単位:百万円)

運用の方法等		資産額	金銭信託 構成比	
委託 運用	金 銭 信 託	国内債券	500	61.1%
		国内株式	319	38.9%
		合計	819	100.0%

(注) 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

金銭信託構成比



金銭信託の収益率

▶平成27年度は、委託運用資産のうち金銭信託の[時間加重収益率](#)は、資産別にみると国内債券・国内株式とも[ベンチマーク](#)を上回りました。また、時間加重収益率の資産合計は $\Delta 0.02\%$ となり、全体でもベンチマークに対する超過収益率は 0.78% となりました。

資産区分		時間加重収益率	ベンチマーク	超過収益率
金 銭 信 託	国内債券	5.86%	5.40%	0.45%
	国内株式	$\Delta 8.25\%$	$\Delta 10.82\%$	2.57%
	合計	$\Delta 0.02\%$	$\Delta 0.81\%$	0.78%

(注) ベンチマークの合計欄は、構成比による加重平均である。

【時間加重収益率】

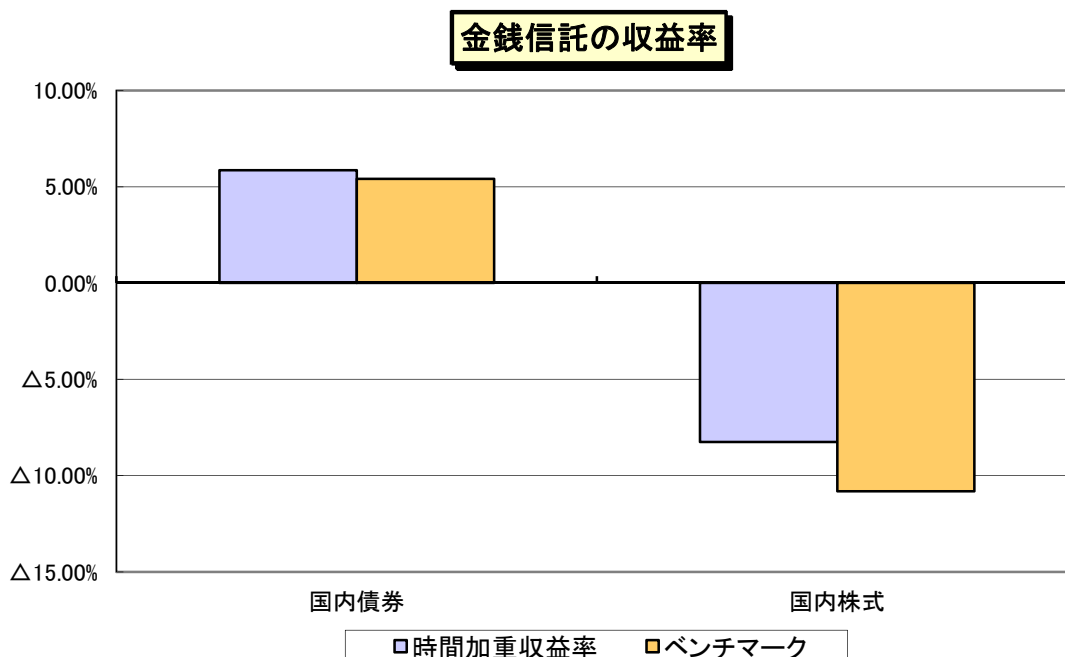
・キャッシュフローが発生するごとに期間(時間)を区切り、各期間ごとに収益率を計算し、最後に複数の期間ごとの収益率を掛け合わせる(加重)ことで求めた時価ベースの収益率である。

【ベンチマーク】

・運用成果を測るための基準となるもの。運用機関がどれだけの収益率をあげたかという絶対的な判断ではなく、市場に対してどうであったかという相対的な判断(ベンチマーク評価)をするときの基準値となる。

国内債券: [NOMURAボンド・パフォーマンス・インデックス\(総合\)](#)

国内株式: [TOPIX\(配当込み\)](#)



運用資産の構成状況

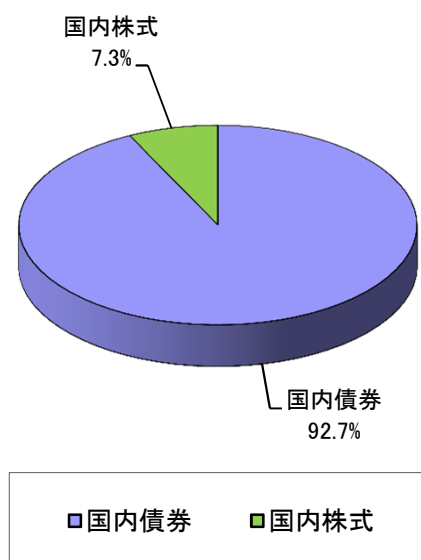
➤平成27年度末の資産構成状況は、[基本ポートフォリオ](#)に定める資産配分に対する[乖離許容幅](#)の範囲内を維持しました。

(単位:百万円)

資産区分	基本ポートフォリオ	乖離許容幅	資産額	資産構成比	乖離状況
国内債券	93.9%	+2.0% ~ -4.5%	4,051	92.7%	△ 1.2%
国内株式	6.1%	+4.5% ~ -2.0%	319	7.3%	1.2%
合計	100.0%	—	4,369	100.0%	—

- (注) 1. 国内債券には、預金が含まれている。
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

資産構成比



基本ポートフォリオ乖離状況

